

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-810	A-820	22-010
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之		
題名 (原題/訳)		
Association between Alcohol Consumption and the Risk of Sarcopenia: A Systematic Review and Meta-Analysis アルコール摂取とサルコペニアリスク：システマティックレビューとメタアナリシス		
執筆者		
Hong SH, Bae YJ.		
掲載誌		
Nutrients. 2022 Aug 10;14(16):3266. doi: 10.3390/nu14163266.		
キーワード	PMID	
アルコール摂取、メタアナリシス、サルコペニア	36014771	
要 旨		
<p>目的：サルコペニアは、骨格筋量、筋力および身体能力の低下として定義される一般的な疾患である。これまでの観察疫学研究では、アルコール摂取とサルコペニアリスクの関連について結果が一貫性しておらず、アルコール摂取がサルコペニアの危険因子であるかは今のところ不確かである。本研究は、アルコール摂取とサルコペニアの関連について検討することを目的とした。</p> <p>方法：PRISMA (Preferred Reporting Items for Systematic Reviews and Meta-Analyses) ガイドラインに従い文献調査を行った。2022年4月までに出版されたアルコール摂取とサルコペニアに関連する文献をPubMed、EMBASE、Cochrane Libraryで検索した。ランダム効果モデルのメタ解析を行い、プールされたオッズ比(OR)と95%信頼区間(CI)を算出した。研究のバイアスリスクは、Newcastle-Ottawaスケールを用いて評価した。</p> <p>結果：19の観察研究の422,870人の参加者のうち、3,826人のサルコペニア患者が報告され、本研究に組み入れ評価した。アルコール摂取はサルコペニアリスクと有意な関連はなかった(OR, 1.00; 95% CI, 0.83 to 1.20; I² = 60.6%)。アルコール摂取は、男性(OR, 0.70; 95% CI, 0.46 to 1.07; I² = 0.0%)および女性(OR, 1.20; 95% CI, 0.63 to 2.30; I² = 75.8%)で、男性において統計学的に有意ではないがサルコペニアのリスクを減少させる結果であった。年齢と飲酒量によるサブグループ解析では、65歳においてサルコペニアリスクの上昇と有意に関連していた(OR, 2.62; 95% CI, 1.22 to 5.62; I² = 100%)。</p> <p>結論：この観察研究のメタアナリシスでは、アルコール摂取はサルコペニアリスクと有意に関連しないことが示された。しかし、喫煙や食事パターンなど、アルコール摂取とサルコペニアの関連に影響を与える要因が存在することから、今後の研究において、アルコール摂取とサルコペニアの関連を系統的に解析するためには、これらの交絡因子に関する追加的な研究が必要である。</p>		